

世界糖尿病デー「糖尿病川柳」入選作品決定!!

「もうやめよう これが最後の 一口と」
 「ウォーキング ポケモンGOで 急増加」
 「誘惑に いつも惨敗 秋の味」

11月14日の世界糖尿病デーに合わせて11月に約1か月間、糖尿病に関する展示を外来ホールで行いました。

年々、多くの方々足を止め展示を見ていただき我々の活動を知っていただくことができスタッフ一同大変嬉しく思っています。今回は糖尿病に関わる最新情報のポスター掲示と患者様・スタッフより『糖尿病川柳』を募集、掲示しました。糖尿病と日々関わっている皆さんの思いを知るよい機会となりました。ありがとうございました。

これからも食事・運動・くすりなど生活全般にかかわるセルフケアに日々取り組む糖尿病患者さんをチーム全体でサポートしていきますのでお気軽にご相談ください。

(糖尿病看護認定看護師 渡邊 美佳)



ごあいさつ

●外科 橋本 清先生



今回、転勤に伴いまして12月で三重病院を退職することとなりました。

振り返ってみると、三重病院では2年6か月という比較的長い間お世話になりました。この間、あたたかい職場と、やりがいのある仕事に恵まれ、今思うと本当にあつという間でした。このような職場と巡り合えたことは、私にとって幸せであったと感慨を新たにしております

皆さんに助けをいただいで、「ひとつひとつの仕事に精一杯取り組んだ」という満足感がある一方で、まだまだやり残したことがあるような気がしてなりません。

1月からは三重病院で経験した2年6か月のことを忘れずに、今後も自分を磨いて、存分に力を発揮して参りたいと思います。最後になりますが、今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

●小児科 北村 創矢先生



2016年12月で三重病院を退職する運びとなりました。半年間と短い期間でしたが、大変お世話になりました。

これまでの小児科研修では総合病院での勤務だったため、特定の分野はなく診療していました。三重病院ではそれぞれ専門の分野をお持ちの先生から指導を受けることが出来、非常に勉強になりました。また、仕事を円滑に運ぶためのシステムもよく整備されており、他の病院でも活かせる点があったように思います。来月からは新生児医療の現場に移る予定です。全く違う環境での勤務となりますが、この病院で学んだことを活かして頑張ります。

また、いつかこちらで勤務することがありましたら、よろしく願います。今までお世話になりました。



「QC活動奨励表彰10周年記念賞」受賞!!

国立病院機構の各病院では、19年度よりQC活動を行なっています。QC活動とは、職場での「医療・看護の質、ならびにそのために行なう仕事の質を、よい状態にする活動」です。当院でも、毎年、「医療サービス」、「経営改善」、「医療安全」などのテーマをあげ、幅広い内容の活動を各部署で行なっています。平成28年度は、国立病院機構でQC活動を開始して、節目の10期目にあたります。当院は、毎年多くのQC活動を行なっているということで、「QC活動奨励表彰10周年記念賞」を受賞し、11月に沖縄で開催された国立病院総合医学会で表彰されました。これはQCサークル活動推進委員の活躍と、日々のスタッフの継続した活動の成果であると思えます。今後も、更なるQC活動の推進を図り、医療・看護の質の向上に努めていきたいです。

(QCサークル活動推進事務局 沢口 夏季)



●小児科 坪谷 尚季先生



小児科専修医の坪谷尚季と申します。2016年12月をもって三重病院を退職する運びとなりました。半年間と短い期間でしたが、大変お世話になりました。

小児科医は、こどもの全体を診るため、心臓や胃腸などといった焦点を絞らずに総合的に考えていく必要があります。一方、同じ小児科の中でも専門分野は分かれています。それぞれの領域では日々新しい事が行われるように発展し続けています。

そのため小児科医の研修においては、複数の施設を巡り、様々な知識と経験を得ていく必要があります。その過程としてここ三重病院に赴任し、急性期病棟、慢性期病棟と幅広い診療に携わることで大変貴重な経験をさせて頂きました。

今後も研鑽のため三重県内の病院を異動するため、多方面でお世話になる事があるかと存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。半年間、ありがとうございました。